

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県・守山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	守山市文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>守山市が策定し、地域住民が主体となって進めている「守山まるごと活性化プラン（平成25年度策定、平成26年度以降実行）」に基づき、地域住民による文化遺産・歴史遺産への愛着を図り、コミュニティの活性化につなげるため、下記の取組を実施する。</p> <p>1、市内の文化遺産継承事業として、無形民俗文化財の後継者育成事業 2、市内の遺跡に関して、地域住民だけでなく様々な人を対象にした広報活動を行う</p>			
6 実施体制			
<p>守山市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等を行う。 担当課：教育委員会事務局文化財保護課 また、補助事業は次の団体が実施する。 守山市文化遺産を活かした地域活性化事業実行委員会（委員長：小島 睦夫） 構成団体（守山市教育委員会、下新川神社神事保存会、長刀祭祭礼委員会、勝部神社松明組、住吉神社火まつり保存会、吉身祭礼保存会、NPO法人守山弥生遺跡研究会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 2,976 千円	平成29年度申請額： 4,926 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>祭りの継承者を育成する事業により、後継者不足を解消する。また若い世代が地域に溶け込み、地域を盛り上げる意気込みを持つことができる。祭りに使用する道具を伝統的な形のまま補修することによって参加者全体の士気を高め、現参加者だけでなく、次世代の参加者が祭りへの参加意欲が出るように促すことができる。また、市内史跡に関する広報活動を行うことで、地域住民はもちろん、様々な方に守山の史跡の重要性を理解していただくことができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	今年度に関しては、独立行政法人「芸術文化振興会」より芸術文化振興基金の助成を予定しています。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
予定なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	守山市教育委員会事務局 文化財保護課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	勝部、浮気の火祭り、鯨切り祭、豊年踊りの参加住民数			関連事業 :	①、③、④、⑤、⑥、⑦	
目標値 1 :	平成 29 年度	306 人	⇒	平成 32 年度	350 人	
設定根拠 1 :	近年の当事業の成果で、マスコミ等の取材も増え地域住民の祭りに対する見方も変化している。しかし、自治会の人口減少や少子化に伴い祭りの担い手の確保が難しいことから0.5割増を目標とし祭りの維持を行う(長刀以外)					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	勝部、浮気の火祭り、鯨切り祭、長刀まつり、豊年踊りの入込客数			関連事業 :	①、②、③、④、⑤、⑥、⑦	
目標値 2 :	平成 29 年度	6,500 人	⇒	平成 32 年度	8,600 人	
設定根拠 2 :	守山市全体の観光客入込数の平均伸び率1.02倍を参考とし、今後の広報活動による増加を考慮し、毎年度1.1倍の集客を目指す。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦：	長刀踊り継承事業	実施団体：	小津神社長刀踊り保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	祭に使用する道具の修繕、新調を行う。長刀祭りは7年ごとの輪番制で行っており、これまで新規の保存会員が定着しにくい状況であったが、用具を整備し完成度の高い祭を行うことで、新規住民等に祭に興味を持ってもらい、保存会への参加を促す。				
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	長刀祭りの担当地域によって自治会の規模が違うので、各自治会において、前年度の5%アップを目指す。				
目標値：	平成 29 年度	105 %	⇒ 平成 32 年度 105 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
	%	%	%	%	%
事業⑧：	長刀踊り継承事業	実施団体：	小津神社長刀踊り保存会		
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	長刀祭りの神事のビデオ撮影での記録保存を行う。記録された映像は、継承のための資料だけでなく平成26年度に本事業で作成したHPに掲載することで、より多くの人々に公開することができ、様々な人の文化遺産の関心につながる。				
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	長刀祭り継承用のDVDの貸し出し数及び守山市のHP(歴史の町守山)に掲載する動画へのアクセス数(H26に作成した市のHPの閲覧者数を参考に設定)				
目標値：	平成 29 年度	3,000 PV	⇒ 平成 32 年度 5,000 PV		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
	PV	PV	PV	PV	PV
事業⑨：	守山市弥生遺跡 QRガイドシステム作成	実施団体：	NPO法人 守山弥生遺跡研究会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	市内の弥生遺跡を対象とする中で、29年度は国史跡である伊勢、下之郷遺跡を対象に事業を行う。スマートフォン用HPを作成するために、HPのもととなる記事を作成し、委託業者にスマートフォン版のHPへの編集作業を行ってもらう。次年度以降に制作予定の現地説明板には、このHPへつながるQRコードを記入し、現地で実際にHP内のガイドを見ることができるようにする。				
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数(PV数)	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	本事業で作成したHPの毎年前年度の1.5倍の閲覧数を目標とする。				
目標値：	平成 29 年度	3,000 PV	⇒ 平成 32 年度 10,000 PV		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
	PV	PV	PV	PV	PV